

令和 6 年度

# 金沢市埋蔵文化財調査年報

令和 7 年 3 月  
(2 0 2 5 年)

金 沢 市  
(金沢市埋蔵文化財センター)

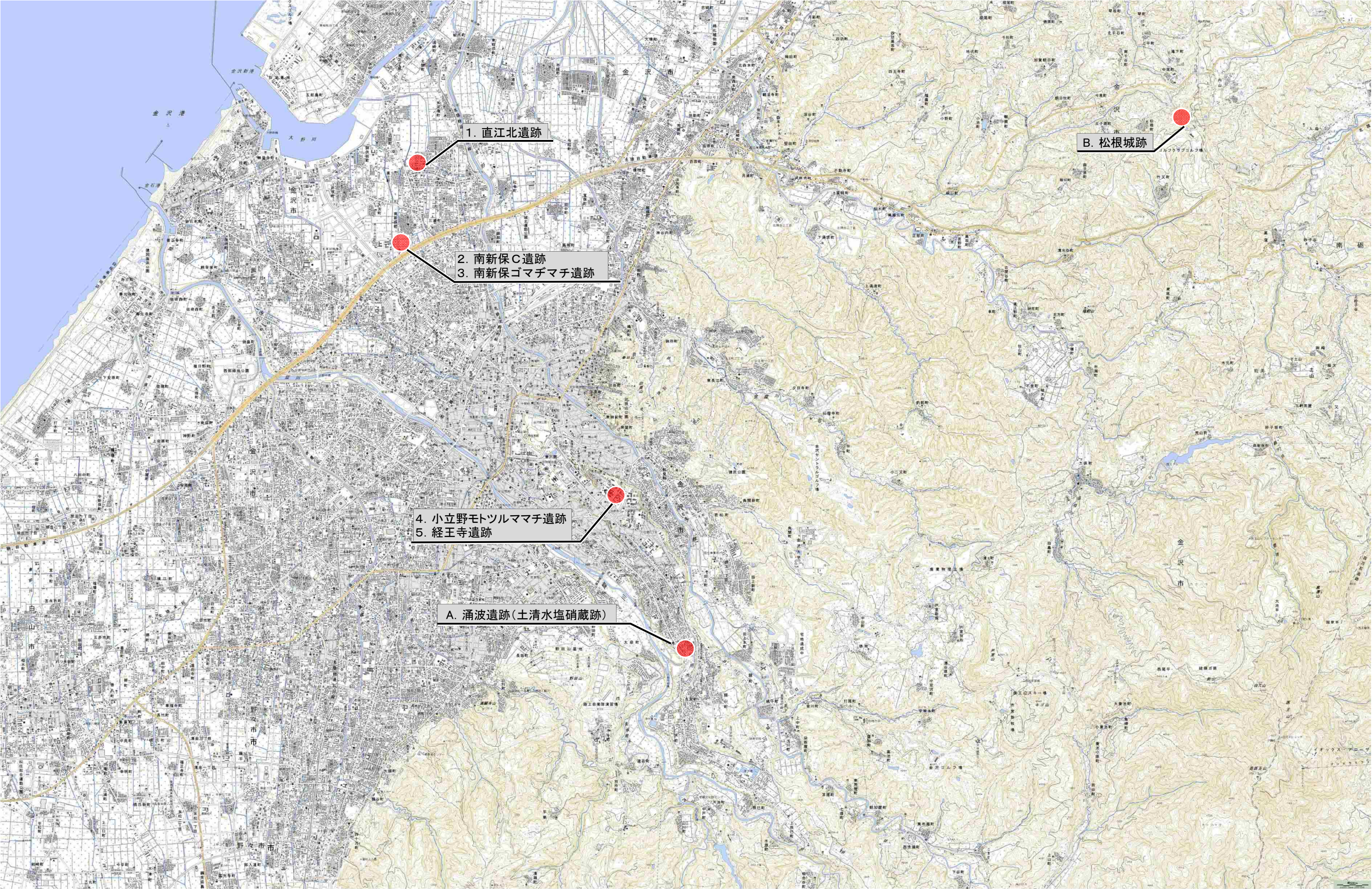
# 1. 埋蔵文化財発掘調査事業等

## (1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
1	なおいきた いせき 直江北遺跡									
	金沢市 直江南地内	450㎡	地下貯留施設 築造 (公 共)	20240415 ～ 20240531	沖積地	15,406	1箱	縄文 弥生 古墳 奈良・平安	ピット 土坑 溝	縄文土器 管玉 土師器 須恵器 陶磁器 石製品
みなみしんぼ いせき みなみしんぼ いせきぐん 南新保C遺跡【南新保遺跡群】 ※太字は南新保遺跡群2遺跡の合算										
2	金沢市 南新保町地内	3,350㎡	区画整理 (民 間)	20240912 ～ 20241223	沖積平野	246,586	55箱	弥生～室町	前方後方墳 方形 周溝墓 木棺墓 平地式建物 井戸 土坑 溝 ピット	弥生土器 土師器 須 恵器 木製品 石製品
みなみしんぼ いせき みなみしんぼ いせきぐん 南新保ゴマデマチ遺跡【南新保遺跡群】 ※太字は南新保遺跡群2遺跡の合算										
3	金沢市 大友町地内	7,650㎡	区画整理 (民 間)	20241011 ～ 継続中	沖積平野	246,586	30箱	弥生～室町	ピット 土坑 溝	弥生土器 土師器 須 恵器 木製品 石製品
こだつの いせき 小立野モトツルママチ遺跡 ※太字は経王寺遺跡と合算										
4	金沢市 小立野5丁目地内	2,795㎡	美大跡地再開発 (公 共)	20240624 ～ 20250124	台地	162,800	57箱	近世、近代	近代煉瓦基礎、 ピット 土坑 溝 井戸	近代陶磁器、近世陶磁 器、近世土師器、金属 製品
きとろうじ いせき 経王寺遺跡 ※太字は小立野モトツルママチ遺跡と合算										
5	金沢市 小立野5丁目地内	682㎡	美大跡地再開発 (公 共)	20250128 ～ 継続中	台地	162,800	7箱	近世	堀跡 道路跡 溝 ピット	近世陶磁器、 近世土師器、金属製品
学 術 調 査										
A	わくなみ いせき つつ ちようず えんしやうぐらあと 涌波遺跡（土清水塩硝蔵跡）									
	金沢市 涌波町地内	68㎡	史跡整備 (公共)	20240729 ～20240903	河岸段丘	4,457	1箱	近世	礎石、瓦溜まり、 溝	近世磁器 近世瓦
まつね じしやんと かえつ くにざかしやあとぐん およ みち 松根城跡（加越国境城跡群及び道）										
B	金沢市 松根町地内	33.9㎡	学術調査 (公 共)	20241111 ～ 20241129	丘陵	1,299	1箱	安土桃山	大堀切内 土塁状遺構と堀	近世陶器



(2)埋蔵文化財発掘調査位置図





なおえきたいせき  
1. 直江北遺跡

〈遺跡番号 新発見のため番号なし〉

所在地：金沢市直江南2丁目地内

北緯 36° 36′ 34″

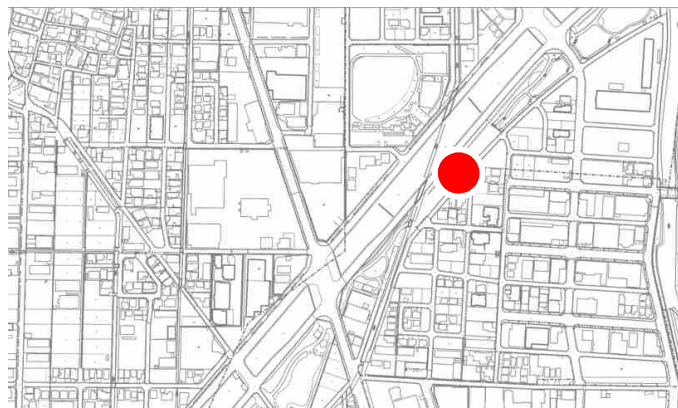
東経 136° 38′ 07″

調査面積：450 m<sup>2</sup>

種 別：集落跡

主な時代：縄文～平安

担 当：前田 主査



## ■ 遺跡の概要

直江北遺跡は、金沢市直江南2丁目地内に所在する。金沢市内水整備課が施工する西部緑道地下貯留施設築造工事に先立ち発掘調査を実施した。

直江北遺跡は金沢平野北西部にあり、海岸線から南東に約3km、浅野川から西に約1km、犀川から北東に約4kmの場所に位置する。土壌は湧水があり粘性が強い。遺跡周辺はかつて所々に地下水が自噴する環境に恵まれた地域で、古くから集落形成に適しており、市内でも有数の遺跡密集地帯となっている。

今回の発掘調査により確認できた遺構は、溝9条、土坑3基、ピット5基である。後世の攪乱により地山が削平されていることや、天地返し、暗渠などによる影響もあり、遺構はそれほど認められなかった。また、遺構に伴う遺物も少なかった。出土遺物の時期については、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代と考えられる。

調査区は平成19年度に発掘調査を実施した東区・支線南区、平成20年度に発掘調査を実施した仮水南区に隣接している。今回見つかったSD04は平成20年度調査区で確認されたSD183の続きではないかと考えられる。特に出土遺物の無い溝なので、その性格は不明である。

その他の遺構は古墳時代の溝SD01、SD01により南側が壊されているSD02、SD03、縄文土器が出土したSK01、SK03等がある。

今後は過年度調査区との整合を図り、遺構の関係を明らかにしていきたい。



調査区全景(北西から)



SK03



管玉(SD01 出土)



## 2. 南新保C遺跡【南新保遺跡群】

〈遺跡番号 県：1290 市：149〉

所在地：金沢市南新保町地内

北緯 36° 35′ 49″

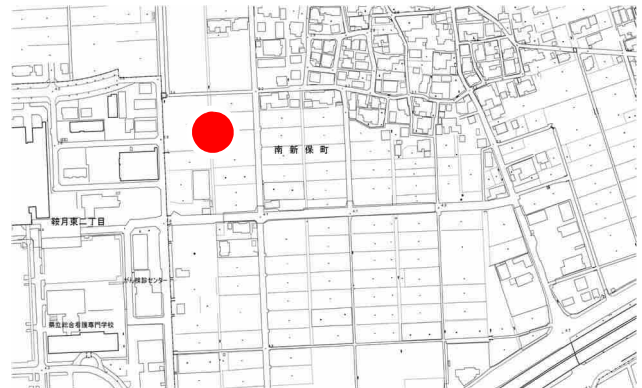
東経 136° 37′ 57″

調査面積：3,350 m<sup>2</sup>

種 別：集落跡

主な時代：弥生～室町時代

担 当：新出 主査、鏡 主事



### ■ 遺跡の概要

本遺跡の発掘調査は金沢市南新保土地区画整理事業に伴うものである（南新保ゴマヂマチ遺跡の項を参照）。過去においては、平成8・9年度に石川県埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われたほか、同区画整理事業に伴う発掘調査が令和2～5年度に行われており、弥生時代から室町時代までの遺構と遺物が出土している。特に弥生時代中期～古墳時代中期の住居跡や墳墓が多数検出され、当時の生活を生き生きと伝える多彩な土器や木製品、石製品が出土しており、大規模な集落が営まれていたことが明らかになっている。また、令和3年度の調査では平安時代の船着場または船関連施設の跡と思われる遺構から船材と思われる長大な木材が出土している。

令和6年度の発掘調査は別図の箇所を実施し、前方後方墳の周溝、方形周溝墓3基、木棺墓3基、平地式建物2棟のほか、複数の土坑、溝、ピットなどが検出された。遺物は、弥生時代後期～古墳時代前期及び奈良時代～平安時代のものが出土した。

#### 【北加賀最大の前方後方墳】

平成8・9年度調査（石川県埋蔵文化財センター実施）で検出された前方後方墳の後方部周溝の延長が検出された。周溝の幅は約3.5m、深さ0.6mで、北東側で直角に屈曲する。令和5年度の調査では、周溝が屈曲後、北西方向に約1.5m延びたところで立ち上がるのを確認している。立ち上がりは底面から30cm程のみ残存しており、それより上部は近代以降の河川跡に壊されている。周溝の墳丘側の覆土からは、底部に穴のある古墳時代前期の土器が2点出土した。このような土器は方形周溝墓や古墳から出土することが多く、葬送儀礼の中で供献されたものと考えられている。土器は周溝底部から約20cmの覆土中で出土しており、墳丘部に安置したものが転落したと考えられる。また、周溝屈曲部の底面からは、織機の一部である布巻具と考えられる木製品や、1m以上の長さがある棒状木製品が多数出土している。

今回の調査により、これまで推定値とされていた墳丘の規模が確定されることになる。墳丘長は約32mであり、現在墳丘長が明らかとなっている前方後方墳の中では、北加賀最大となる。

#### 【弥生時代後期の方形周溝墓】

3基とも周溝の四隅を掘り残す形状で、墳丘は既に削平され、埋葬施設などは残存していない。方形周溝墓①・②は大型で、周溝は長辺約7m、短辺約1.7mを測る。方形周溝墓①は弥生時代後期のものと考えられ、ほぼ完形の赤彩壺や鉢、台付鉢などの多数の土器が出土している。方形周溝墓③の南側周溝は約20cmの深さで底のみ残存する状況であったが、中央からは弥生時代後期後半の高杯1点が潰れた状態で出土した。



### 【木棺墓】

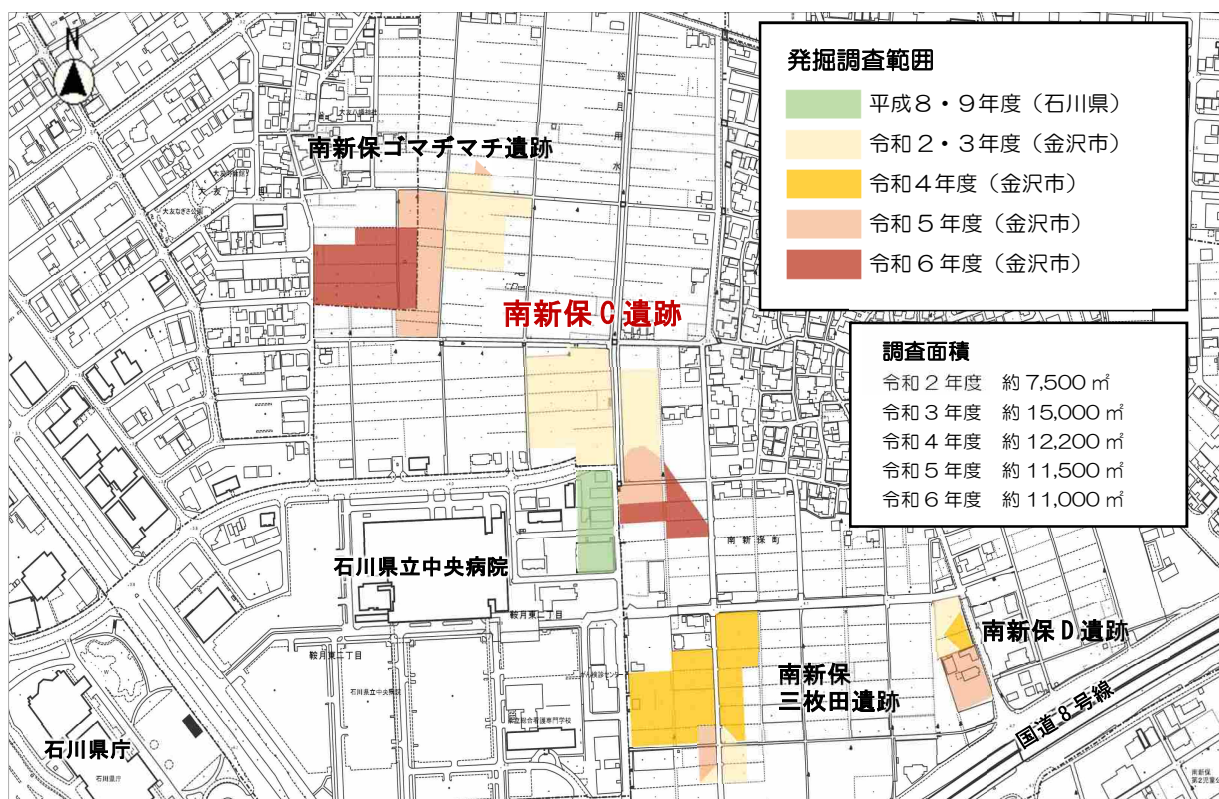
木棺墓は、長方形の穴の底面に板をはめ込んで棺を作り遺体を埋葬した墓で、3基を確認した。木棺墓③は、底部を長辺で立ち割ったところ、棺の板材と考えられる痕跡を確認した。木棺墓①・②については板材の痕跡を明確に確認することはできなかったが、板材の掘方がみられることから同様の木棺墓である可能性がある。どの木棺墓も出土遺物が全く見られないため、時期の特定にはさらなる検討が必要である。

### 【弥生時代中期後葉の平地式建物】

平地式建物①は、大きく削平を受けているが、細長い土坑が円弧状に連続する周溝を持ち、そのほぼ中央に柱穴を検出している。平地式建物②は幅約 1.1mの周溝が円形にめぐり、建物は竪穴部をもつと考えられ、周溝の内部には壁際に板材などを据え付ける際の壁溝が確認された。どちらの平地式建物からも弥生時代中期後葉の土器が出土している。

### 【まとめ】

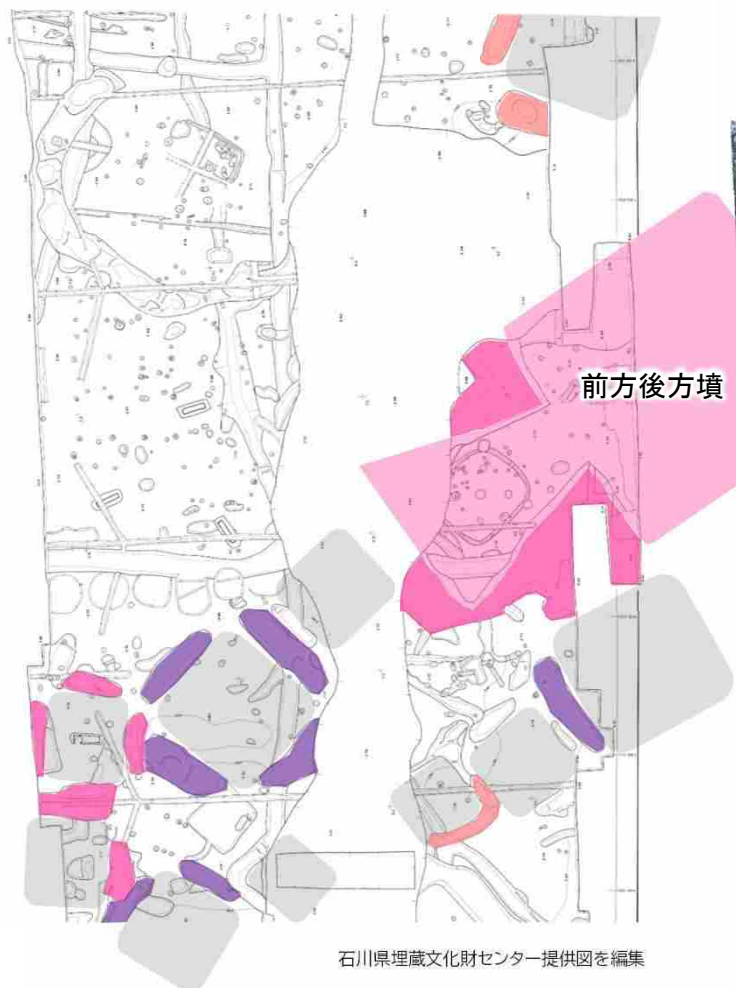
北加賀最大の前方後方墳の存在は古墳時代前期に大規模勢力及び有力者が本遺跡周辺に存在していた可能性を示すものであり、さらにその母体として弥生時代中期後半から終末期に方形周溝墓を多数築造する大規模集団が存在し、古墳時代へと移行する中でその集団が一大勢力へと発展していく過程を示すものである。今回の調査の結果、古墳時代前期における南新保周辺の勢力関係の一端が明らかとなった。



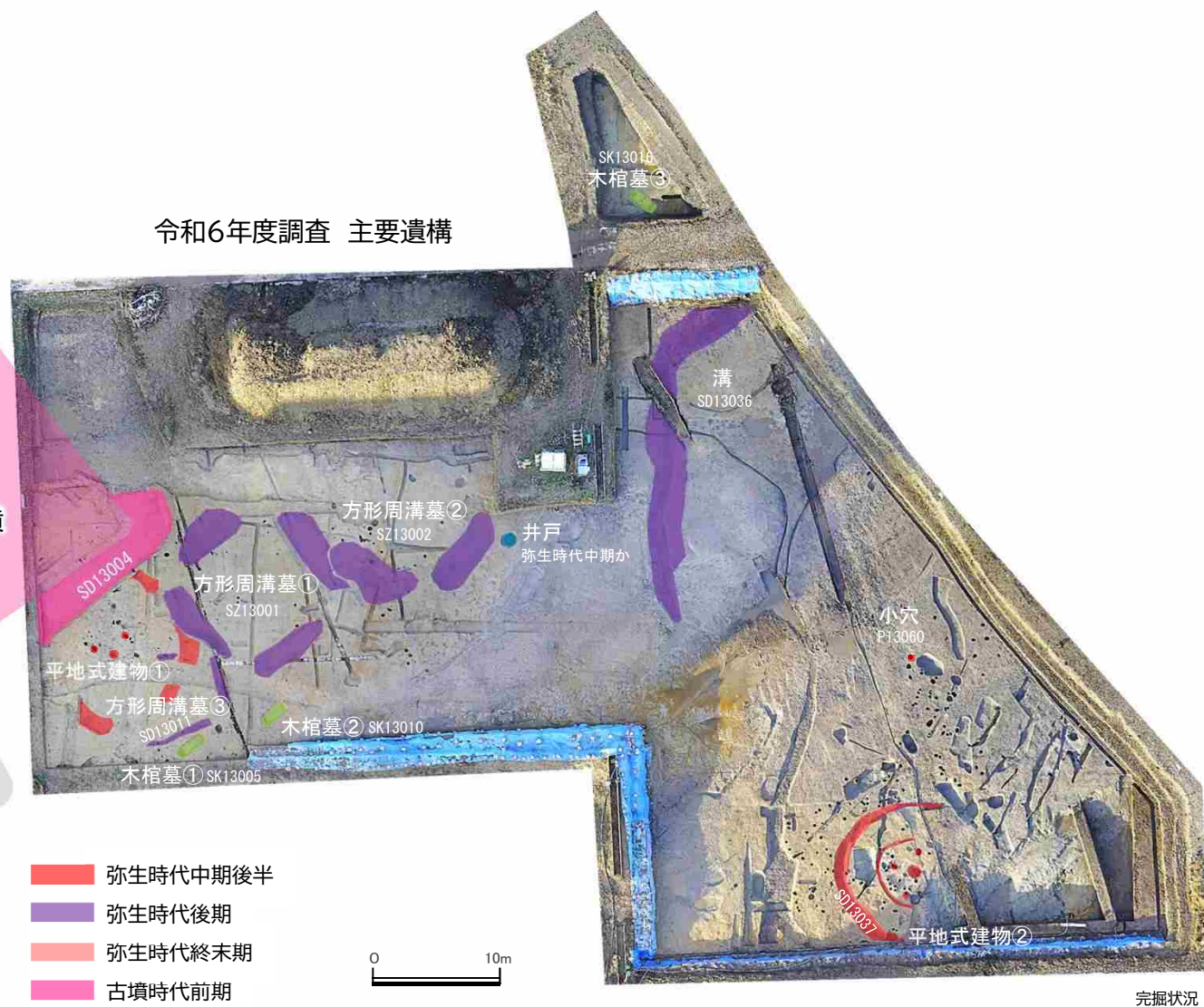
南新保遺跡群 発掘調査範囲



平成8・9年度調査(石川県埋蔵文化財センター)



令和6年度調査 主要遺構



遺構全体図(平成8・9年度調査区と令和6年度調査区とを合成)





前方後方墳の周溝(SD13004) 木製品出土状況



前方後方墳の周溝(SD13004) 断面



前方後方墳の周溝 底部穿孔土器



前方後方墳の周溝 底部穿孔土器



方形周溝墓①(SZ13001) 壺



方形周溝墓③(SD13011) 高坏



木棺墓③(SK13016)



木棺墓③(SK13016)立ち割り 板材の痕跡



### 3. 南新保ゴマヂマチ遺跡【南新保遺跡群】

〈遺跡番号 新発見のため番号なし〉

所在地：金沢市大友1丁目地内

北緯 36° 35′ 56″

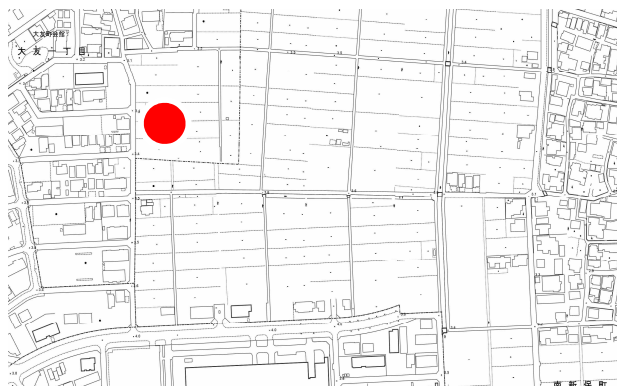
東経 136° 37′ 42″

調査面積：7,650 m<sup>2</sup>

種 別：集落跡

主な時代：弥生～室町時代

担 当：新出 主査、鏡 主事



#### ■ 遺跡の概要

南新保遺跡群は、金沢市南新保町地内において金沢市南新保土地区画整理組合が施工する金沢市南新保土地区画整理事業地内で発掘調査を行っている遺跡の総称で、南新保C遺跡、同D遺跡、同三枚田遺跡、同ゴマヂマチ遺跡が含まれる。発掘調査は令和2年度から同8年度（予定）まで計画されており、5年目となる同6年度は南新保ゴマヂマチ遺跡、同C遺跡の2遺跡の調査を行った。

南新保遺跡群は金沢平野北部、犀川と浅野川に挟まれた金沢港まで約2kmの臨海部に位置する。かつては沼が広がり、小川が網目状に流れるような低湿地の中に点在する微高地上に集落等が営まれる立地環境であったと考えられる。周辺には上記2遺跡のほか、南新保A遺跡、同B遺跡、同D遺跡、同E遺跡、同三枚田遺跡及び弥生時代の大集落として知られる西念・南新保遺跡などが所在する。

#### ■ 南新保ゴマヂマチ遺跡発掘調査の概要

南新保ゴマヂマチ遺跡の発掘調査は令和3年度の第1次調査、令和5年度の第2次調査に続く第3次調査であり、別図に示した6区にて実施した。現地表面から0.2～0.4m程度の深さで遺構検出面となり、標高2.5m前後を測る。調査区全体に天地返し（耕作土の表層と深層を入れ替える農作業）による攪乱が見られる。

6区は5区の西に隣接し平面が方形で大規模な調査区である。これまでの調査と同様、天地返しが調査区のほぼ全面に見られる。令和6年度は6区のうち南側の約1/3を調査し、残る2/3は翌7年度に調査を予定している。

令和6年度調査の主な遺構は溝が9条確認されており、SD6001の底から柄付鋤や脚付きのくりぬき容器、屋根の飾りに使用した木材など多種多様な木製品が出土している。また、SD6002やSD6004からは弥生時代終末から古墳時代初頭の土器が大量に出土しており、付近に集落があったことを示唆している。





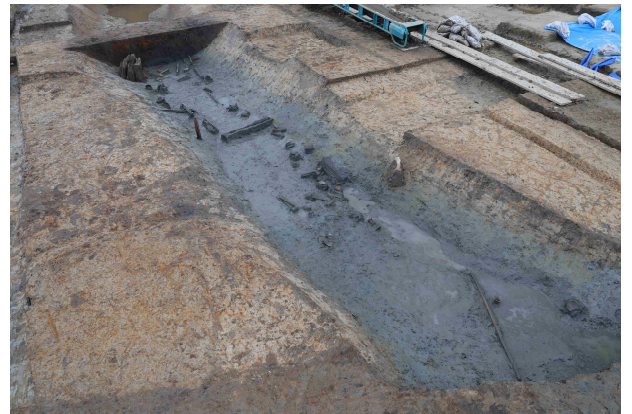
【別図】調査区位置図



6区 調査区全景(上が北)



6区 SD6001 遺物出土状況(右上が脚付き容器)



6区 SD6001遺物出土状況



6区 SD6002遺物出土状況 )



6区 SD6004遺物出土状況



#### 4. <sup>こだつの</sup>小立野<sup>いせき</sup>モトツルママチ遺跡

〈遺跡番号：新発見のため番号なし〉

所在地：金沢市小立野5丁目地内

北緯 36° 33' 22"

東経 136° 40' 40"

調査面積：2,795 m<sup>2</sup>

種 別：城下町

主な時代：近世

担 当：須貝 主事



#### ■ 遺跡の概要

調査地は旧金沢美術工芸大学グラウンド跡地で、跡地再開発に伴い調査を行った。藩政期においては加賀八家の一つである奥村家の下屋敷にあたり、近代においては金沢監獄の女子監房や物置などの附属施設があった一帯に該当する。

調査区は現地表（標高 61.91m付近）から約1m下までが近現代の整地面で、上層は近代遺構が存在し、その下の地山付近で近世遺構を検出した。土坑・井戸・溝・小穴など計249基の遺構を検出している。

近代遺構としては、調査区の南側から金沢監獄時代の煉瓦構造を多数検出している。何度も建て替えられており用途不明な構造物が多数であったが、石川県立図書館所蔵の『明治四十年 新築金沢監獄配置図』や金沢監獄時代の写真と照らし合わせることで、「タンク」と「燻蒸室」に関しては比定することができた。また、調査区中央部からは「監」の字が書かれた食器を大量に廃棄した土坑も検出された。さらに北東部は原地形の傾斜地を大規模に土盛して平坦面を形成していることが確認できた。遺物の混入状況から造成は近代とみられる。

近世遺構としては、調査区北西部に北西-南東方向に走る幅1.1m、検出長34mの溝を検出しており、区画溝の一部と考えられる。また、調査区の中央付近には大型の土坑が密集する箇所が点在しており、覆土からは18世紀代の陶磁器が大量に発見されている。石川県立歴史博物館所蔵『安政頃金沢町絵図』をみると、調査地は崖地に隣接した屋敷地の裏手にあたるため、不用品を廃棄したゴミ穴が多数検出されたとみられる。この他素掘りの井戸や、南東部からは用途不明の大型の方形土坑（7m×4m）などが検出されている。また、調査区内からは小穴が多数検出されているが、柱穴と判断できるかは検討を要する。

本調査により、近代の金沢監獄や近世の武家地における土地利用の一端をうかがうことができた。今後の屋内整理の実施によって遺物の年代が確定し、それに伴って遺構の変遷が判明することで、金沢監獄の構造や近世の武家の生活を解明する一助となることが期待される。





タンク跡断面(南西から)



燻蒸室跡断面(南西から)



土坑(北西から)



土坑(南西から)



土坑(南から)



土坑断面(北西から)



土坑出土遺物(監獄・刑務所食器)



土坑出土遺物(近世陶器)



## 5. 経王寺遺跡<sup>きょうおうじいせき</sup>

〈遺跡番号 市遺跡番号 554〉

所在地：金沢市小立野5丁目地内

北緯 36° 33′ 19″

東経 136° 40′ 36″

調査面積：682 m<sup>2</sup>

種 別：社寺跡

主な時代：近世

担 当：須貝 主事



### ■ 遺跡の概要

調査地は旧金沢美術工芸大学講堂棟に隣接する駐車場跡地で、再開発に伴い調査を行った。藩政期においては加賀八家の一つである横山家の下屋敷と経王寺の境目にあたり、近代においては金沢監獄の第一舎があった付近に該当する。

調査区は現地表（標高 61.6m 付近）から 0.5m 下までが近現代の整地面で、上層は近代攪乱により破壊されていたが、その直下の地山付近で近世の遺構を検出した。堀、道路、土坑、溝、小穴など計 94 基の遺構を検出している。

西側からは調査区を南北方向に通り抜ける幅約 4.6m、深さ約 2 m の巨大な堀を検出した。断面は V 字または逆台形を呈しており、経王寺側に該当する西端はテラス状に段を設ける。堀覆土の中間あたりにわずかに砂の堆積が認められ、覆土からは 18 世紀代の陶磁器が出土した。

さらに、この堀に平行して幅約 4.7m の道路状遺構も検出されており、路面の東端には側溝と思われる細い溝も確認できた。この堀・道路に関しては経王寺を圍繞するものであり、その役割や成立・廃絶時期などについては今後の検討を要する。

堀の東側からは、北側が調査区外へと続く大型の土坑が複数確認された。18 世紀代の陶磁器などが多数出土しており、裏手の空閑地に掘られ不用品を廃棄したゴミ穴と推定される。なお、覆土には焼土片が含まれていたが、出土した遺物には被熱の痕跡が見られなかった。また、南東側には遺構が少なく、小穴が複数確認されているのみだが、浅く規則的な並びが見られないことから柱穴である可能性は低い。

調査地は近代以降の整地によって上部構造が破壊され、最下層のみ現存する状況であったが、今後の調査資料の検討により藩政期の金沢における寺地・武家地の構造の一端が明らかになることが期待される。





堀断面(北から、右側が経王寺)



堀(南から、左側が経王寺)



土坑(東から)



道路側溝(北から、右側が路面)



土坑(南西から)



土坑(南東から)



小穴断面(北から)



小穴(南東から)



## A. 涌波遺跡(土清水塩硝蔵跡)

〈遺跡番号 県:112000 市:555〉

所在地：金沢市涌波町地内

北緯 36° 52′ 81″

東経 136° 68′ 83″

調査面積：68 m<sup>2</sup>

種 別：生産遺跡

主な時代：近世

担 当：庄田 主査



### ■ 遺跡の概要

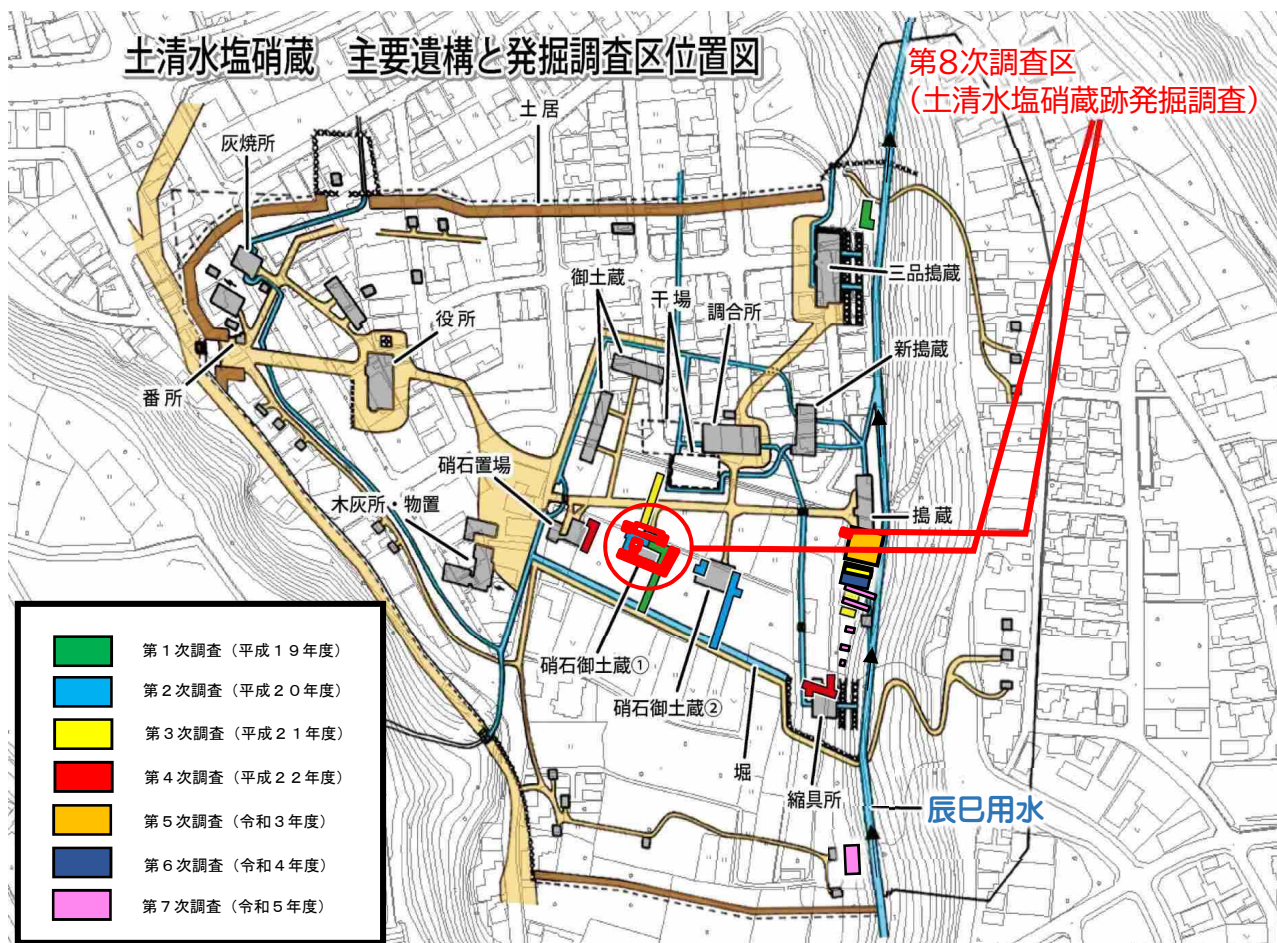
涌波遺跡は、国史跡辰巳用水附土清水塩硝蔵跡のうち、江戸時代に加賀藩が設けた黒色火薬の製造施設である土清水塩硝蔵跡の一部を埋蔵文化財包蔵地として周知化したものである。

本遺跡内では、平成19年度から国庫補助事業として埋蔵文化財調査を継続的に実施しており、原材料の硝石を貯蔵していた硝石御土蔵や辰巳用水の水流を動力として原材料を砕いていた搗蔵、調合した原材料を練り伸ばした縮具所、敷地を区画していた堀などが確認されている。

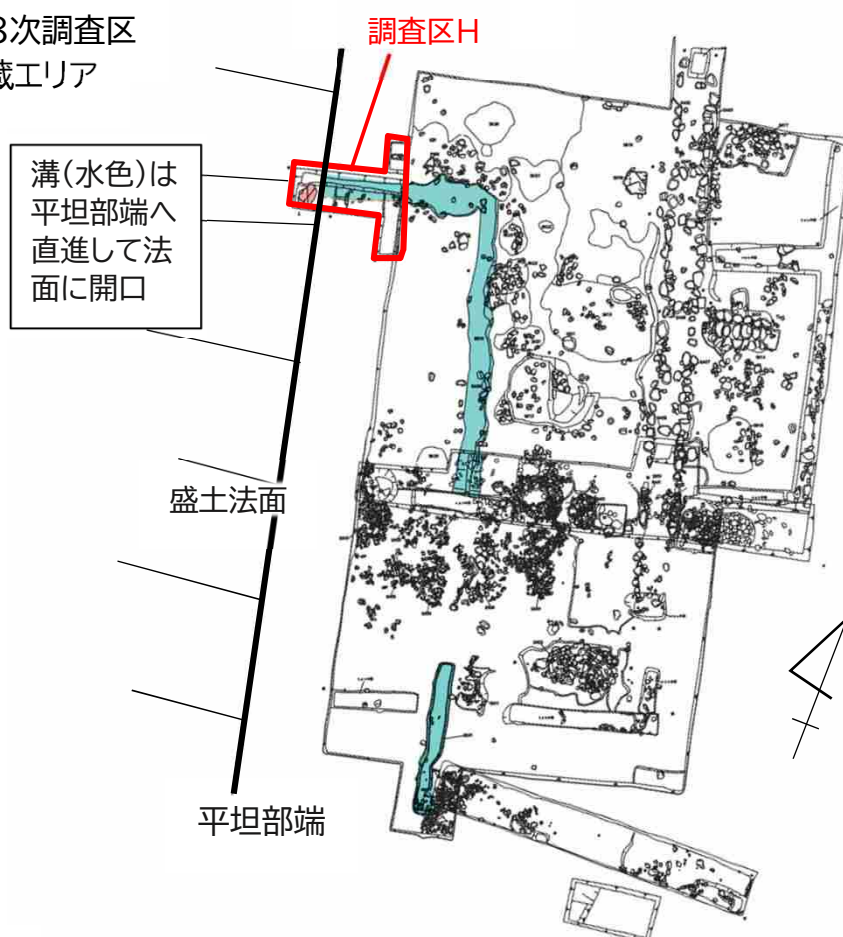
史跡整備に係り、令和6年度は硝石御土蔵跡エリアと搗蔵跡エリアの2箇所で発掘調査を実施した。

硝石御土蔵跡エリアでは、平成19～20年度の発掘調査で礎石列を確認した硝石御土蔵①において、未検出の礎石配列等を確認するために調査区（A～G区）を設定した。A・B区では、硝石御土蔵①外周の礎石列を検出した。外周礎石は半間（約90cm）間隔で9石×25石（抜取痕含む）が並ぶ。これにより硝石御土蔵①は東西約27m×南北約12m×高さ約0.4mの基壇上に芯心間東西12間（21.6m）×南北4間（7.2m）の範囲で礎石を並べていることが明確となった。E・F・G区では、硝石御土蔵①建屋内部の礎石（束石）が梁間方向は1間（約1.8m）間隔、桁行方向は半間（約90cm）間隔で並べられていること、C-1区とC-2区では、硝石御土蔵①基壇が北東方向に凸形をしていることを確認した。D区では、本瓦葺き（平瓦・丸瓦・軒平瓦・軒丸瓦等）の赤褐色釉瓦（鉄釉瓦・赤瓦）が多数出土した。軒丸瓦は連珠三つ巴文、軒平瓦は中央に梅鉢文を配した忍冬唐草文となっている。

搗蔵跡エリアでは令和3年度の発掘調査でみつきり搗蔵西側の雨落溝と推定された溝の続きの形状を確認するため、H区を設定した。発掘調査の結果、溝は建物形状には沿わず、平坦面端部から斜面法面側へまっすぐ延びることが確認された。

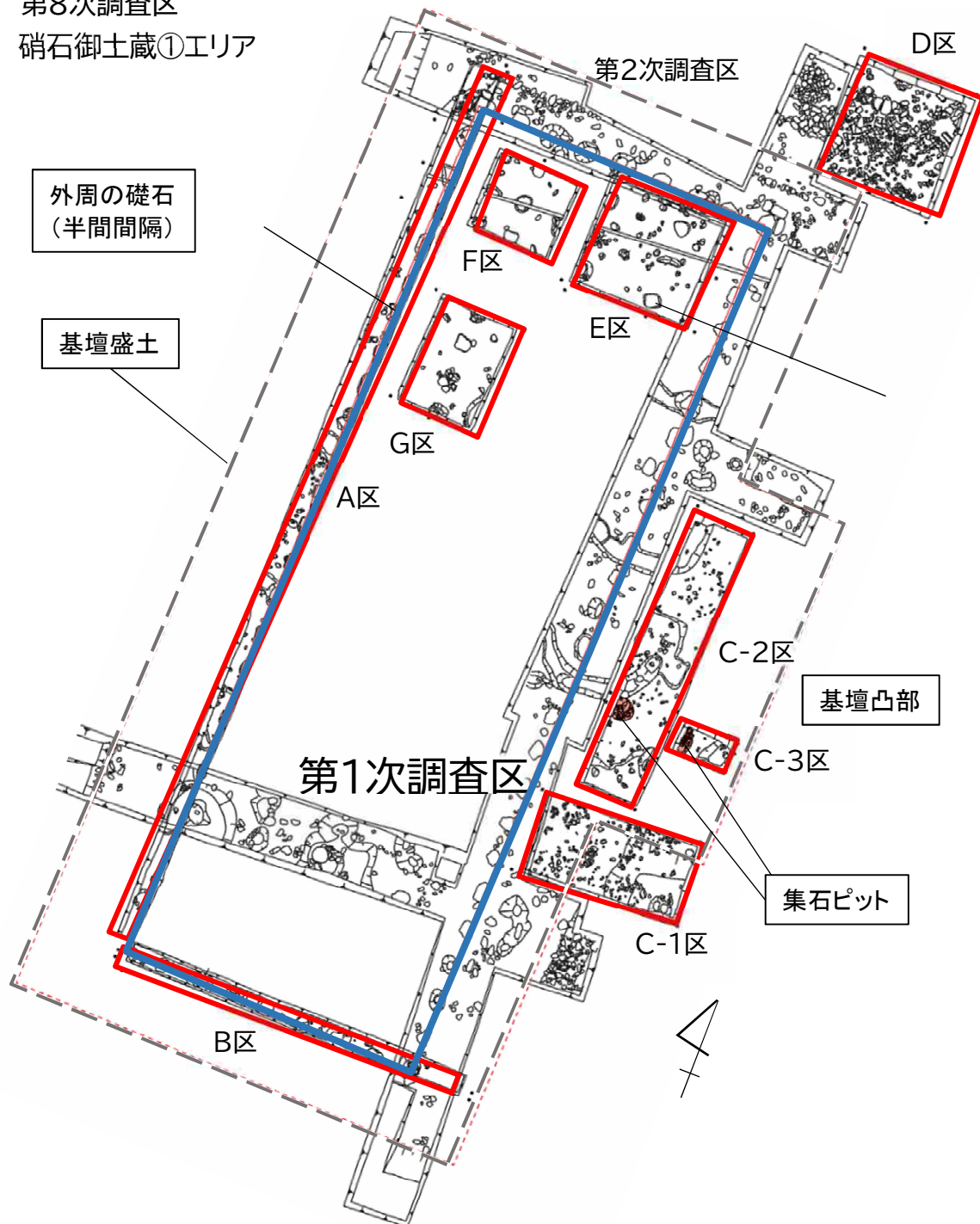


### 第8次調査区 搗蔵エリア





第8次調査区  
硝石御土蔵①エリア







硝石御土蔵① A～G区全景



A区 硝石御土蔵① 外周の礎石列



B区 硝石御土蔵① 外周の礎石列



E・F区 硝石御土蔵① 建屋内部の礎石



C-1区 硝石御土蔵① 基壇突出部



C-2・-3区 硝石御土蔵① 基壇突出部



D区 硝石御土蔵① 瓦廃棄状況



H区 搗蔵の盛土と溝



## B. 松根城跡（加越国境城跡群及び道）

〈遺跡番号 県：01395 市：1115〉

所在地：金沢市松根町地内

北緯 36° 36′ 52″

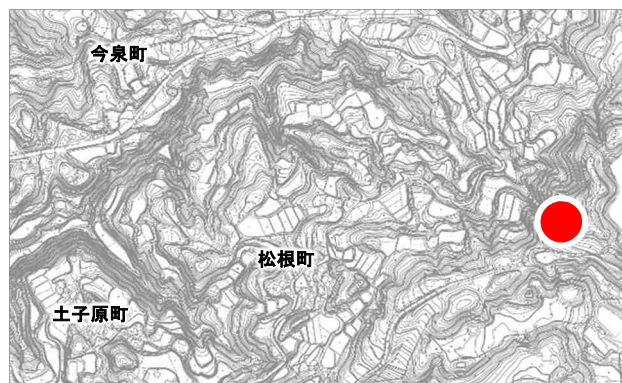
東経 136° 46′ 56″

調査面積：33.9 m<sup>2</sup>

種 別：城館跡

主な時代：平安、鎌倉、安土・桃山

担 当：前田 主査



### ■ 松根城跡の概要

加越国境城跡群及び道は、加賀と越中の国境に築かれた山城とそれらをつなぐ街道で、切山城、松根城及び小原越は、平成 27 年に国史跡に指定されている。本能寺の変から 2 年後の天正 12 年(1584)、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康連合軍が織田信長亡き後の天下統一をめぐり争った「小牧・長久手の戦い」が勃発する。これに連動して、秀吉方の前田利家と信雄・家康方の佐々成政は加賀と越中の国境付近に対峙することとなった。加越国境城跡群はこの時期に築造・改修されたと考えられ、現状で遺構の質・量ともに良く遺存しており、当時の緊迫した状況を遺構から読み解くことのできる希有な事例であることが最大の特徴である。

松根城跡の南西側に位置する大堀切は後世の土地利用により大部分が盛土されて平坦地となっている。加越国境城跡群及び道調査整備指導委員会において、盛土を除去して往時の景観を復元するという方針が示されたため、平成 28 年度策定の保存活用計画及び平成 29 年度策定の整備基本計画を一部改訂し、事前調査及び実施設計等を経た上で令和 6 年度から史跡整備工事に着手した。令和 6 年度の発掘調査は整備工事の際に掘削する範囲の確定を目的として実施したものである。

発掘調査は遺構面までの深度を把握する目的で工事範囲にかかる 3 箇所の法面境付近にてトレンチ調査を実施した。すべての調査区で遺構面となる岩盤層に到達しており、続く整備工事では遺構面に保護層を加えた深度まで掘削することになる。

なお、既往の発掘調査により大堀切の特徴的な構造が明らかになっている。すなわち、西側の切岸に犬走りを取り付くこと、堀内に土塁が設けられていること、さらに両者は直結して通路状の様相を呈すること、などである。令和 6 年度の発掘調査の主目的は遺構深度の確認であったが、3 箇所全ての調査区で犬走りが確認され、また土塁の北方には延伸しないことなどの新たな知見が得られた。

大堀切の史跡整備工事は、冬季の降雪が予想以上に多く一時中断を余儀なくされたが、今回及び既往の発掘調査成果に基づいて、令和 7 年まで継続して実施する予定である。





1区



2区



3区



4区



大堀切



作業風景



## 2. 埋蔵文化財分布調査事業

### (1) 令和6年度埋蔵文化財分布調査の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

令和6年度は金沢市施工の公共事業15件、民間の開発事業・農地転用等110件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成23年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、令和6年度の事業費は3,980千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第93条（民間業者や個人）及び第94条（工事主体が金沢市）に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは38件、発掘調査での対応となったものは4件で、別表のとおりであった。

#### ■ 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担 当 課	調 査 日	面 積	調 査 方 法	有 無	対 応 (遺跡名)
1	小豆沢町ヲ4番地	松くい虫被害木伐倒業務	生涯学習課	4月12日		踏査	有	支障なし (キゴ山西丁場跡)
2	泉野町6丁目地内	広場復旧整備	緑と花の課	6月3日	2,450.㎡	試掘	無	支障なし
3	有松2丁目111番1	教育・福祉施設再整備	企画調整課	6月5日	8,966.6㎡	試掘	無	支障なし
4	押野1・2丁目、米泉6丁目	都市計画街路事業	道路建設課	7月16日	19,300㎡の一部	試掘	無	支障なし
5	材木町13-12	防災整備事業	生涯学習課	10月24日	0.32h	試掘	有	R7発掘調査 材木町遺跡(13番地点)
6	材木町13-12	道路工事	道路建設課	10月24日	L=130m	試掘	有	R7発掘調査 材木町遺跡(13番地点)
7	材木町13-12	防災整備事業	企画調整課	10月24日	9,131㎡	試掘	有	R7発掘調査 材木町遺跡(13番地点)
8	材木町338番、457番、378番のうち一部	市有地売却	総務課	10月25日	9,131㎡のうち一部	試掘	一部有	R7発掘調査 材木町遺跡(13番地点)
9	観音町2丁目117外	無電柱化事業	道路建設課	10月28日	77.㎡	試掘	有	工事立会
10	小将町8番11号	消防団機械器具置場	消防総務課	10月29日	147.2㎡	試掘	有	発掘調査
11	小将町8番11号	駐車場造成	教育総務課	10月29日	595.6㎡	試掘	無	支障なし
12	小将町1番15号	グランド整備	教育総務課	10月29日	4,624.㎡	試掘	有	発掘調査
13	小将町1番15号	マンホールトイレシステム設置	企業局 下水道整備課	12月6日	100.㎡	試掘	有	発掘調査
14	額谷3丁目1番地2	公民館・市民センター建設	生涯学習課	12月12日	2,305.㎡	試掘	無	支障なし
15	泉野町4丁目165番	公園再整備工事	緑と花の課	1月22日	525.㎡	試掘	無	支障なし



■ 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行 為 の 内 容	調査日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	神田2丁目47外5筆	店舗建設	4月1日	1,432.4㎡	試掘	無	支障なし
2	小坂町中25番1外2筆	宅地分譲	4月2日	1,410.74㎡	試掘	無	支障なし
3	桂町イ31-1外3筆	店舗建設	4月4日	1,120.86㎡	試掘	無	支障なし (無量寺B遺跡)
4	黒田2丁目373番5	宅地造成	4月5日	359.7㎡	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
5	畝田西3丁目161	住宅建設	4月11日	214.8㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
6	畝田西3丁目162	住宅建設	4月11日	149.06㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
7	増泉3丁目240番外2筆	老人ホーム建設	4月12日	1,378.92㎡	試掘	無	支障なし
8	寺中町ホ74番地7	住宅建設	4月17日	169.92㎡	試掘	有	慎重工事 (畝田・寺中遺跡)
9	馬替2丁目143番外2筆	老人ホーム建設	4月22日	1,226.㎡	試掘	無	支障なし (馬替遺跡)
10	神宮寺町3-1-5	店舗建設	5月9日	6,442.52㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
11	八日市3丁目515番	住宅建設	5月13日	186.07㎡	試掘	無	支障なし (八日市B遺跡)
12	松村7丁目36番14	住宅建設	5月14日	132.22㎡	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
13	神野2丁目21番	住宅建設	5月17日	852.57㎡	試掘	無	支障なし (南塚遺跡)
14	二ツ屋町508番	住宅建設	5月20日	311.㎡	試掘	無	支障なし (二口六丁B遺跡)
15	八日市1丁目316番4	住宅建設	4月24日	148.93㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
16	有松4丁目51番外5筆	店舗建設	5月21日	2,889.56㎡	試掘	有	慎重工事 (有松D遺跡)
17	伏見台3丁目128外1筆	住宅建設	5月22日	635.㎡	試掘	有	工事立会 (寺地向田遺跡)
18	伏見台3丁目156外1筆	住宅建設	5月22日	566.㎡	試掘	有	工事立会 (寺地向田遺跡)
19	寺中町へ37番9	住宅建設	5月27日	123.09㎡	試掘	有	工事立会 (寺中遺跡)
20	尾張町1丁目4-15	未定	5月29日	1,433.93㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
21	十間町43-2	工場建設	5月29日	174.7㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
22	寺地1丁目82外6筆	駐車場	5月30日	981.㎡	試掘	無	支障なし
23	元菊町9番外2筆	住宅建設	6月12日	203.59㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
24	高畠2丁目121番地1	不動産の売却	6月17日	133.86㎡	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
25	神田2丁目47外5筆	店舗建設	4月1日	1,432.4㎡	試掘	無	支障なし
26	田中町ち5番1	立看板建設	6月18日	.75㎡	試掘	無	支障なし (田中B遺跡)
27	南町116番 外	宿泊施設等	6月18日	2,466.74㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
28	大友町1丁目169番地外2筆	土地区画整理	6月19日	2,686.㎡	試掘	有	発掘調査 (南新保ゴマヂマチ遺跡)
29	彦三町2丁目218-2外3筆	宅地造成	6月20日	283.94㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
30	兼六元町13-8	売買	6月21日	1,744.㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)

ID	場 所	行 為 の 内 容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
31	本江町119番	宅地造成	6月24日	188.29㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
32	本江町355番	住宅建設	7月2日	174.47㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
33	香林坊2丁目206外1筆	住宅建設	7月5日	148.65㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
34	出雲町イ79外1筆	住宅建設	7月10日	695.59㎡	試掘	無	支障なし (若宮遺跡)
35	兼六元町14番外3筆	住宅建設	7月16日	360.41 ㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
36	西泉2丁目116番1外3筆	店舗建設	7月17日	1,409.94 ㎡	試掘	無	支障なし
37	末町拾六字83番1	宅地造成	7月18日	521. ㎡	試掘	無	支障なし (末遺跡)
38	増泉2丁目1-1	神社	7月18日	3,539.54 ㎡	試掘	有	未定
39	金石本町ニ7-3外6筆	店舗建設	7月22日	6,971.2 ㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
40	石引4丁目352番	住宅建設	7月23日	330.67 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
41	北塚町西313番1外2筆	農地転用	7月25日	1,239. ㎡	試掘	無	支障なし
42	寺中町ホ55番55外1筆	住宅建設	8月6日	184.99 ㎡	試掘	無	支障なし (畝田・寺中遺跡)
43	上辰巳町四字126番1	駐車場	8月6日	1,046. ㎡	試掘	無	支障なし (辰巳用水近く)
44	玉鉾3丁目302外3筆	共同住宅の新築	8月21日	1,120. ㎡	試掘	無	支障なし
45	富樫1丁目8番1	宅地造成	8月22日	1,504. ㎡	試掘	無	支障なし
46	小立野3丁目962番1外5筆	集合住宅	8月26日	1,660.74 ㎡	試掘	無	支障なし
47	福増町北850番外3筆	事務所建設	8月26日	399.92 ㎡	試掘	無	支障なし (安原工業団地A遺跡)
48	西金沢5丁目328番	看板設置	8月29日	9.72 ㎡	試掘	無	支障なし (保古町遺跡)
49	兼六元町332番	宅地造成	9月3日	165.32 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
50	神田町2丁目47外5筆	店舗建設	4月1日	1,432.4 ㎡	試掘	無	支障なし
51	森戸1丁目131-7	住宅建設	9月4日	113.55 ㎡	試掘	有	慎重工事 (森戸住宅遺跡)
52	新保本町2丁目547番	住宅建設	9月4日	269.87 ㎡	試掘	無	支障なし (新保本町ツカダ遺跡)
53	畝田西2丁目82番地	住宅建設	9月5日	499.66 ㎡	試掘	無	支障なし (畝田大徳川遺跡)
54	横山町442番外1筆	住宅建設	9月5日	294.21 ㎡	試掘	無	支障なし
55	観音堂町23番1外10筆	店舗建設	9月13日	6,260. ㎡	試掘	無	支障なし
56	柳橋町乙1番1外10筆及び金沢市所管の法定外 公共物の一部	宅地造成	9月20日	5,916.46 ㎡	試掘	無	支障なし
57	示野町ニ80番地	工場増築	9月25日	900.58 ㎡	試掘	無	支障なし
58	涌波2丁目67番3	住宅建設	9月26日	164.85 ㎡	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
59	北安江2丁目2510番	増築	9月27日	1,419.51 ㎡	試掘	無	支障なし
60	新保本1丁目326番	店舗建設	10月2日	285. ㎡	試掘	無	支障なし (新保本町東遺跡)



ID	場 所	行 為 の 内 容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
61	松村一丁目224番外1筆	共同住宅建設	10月9日	1,083. ㎡	試掘	無	支障なし
62	高岡町541番1外1筆	住宅建設	10月15日	231.34 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
63	笠舞1丁目165番外1筆	住宅建設	10月16日	165.59 ㎡	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
64	富樫1丁目10番3	共同住宅建設	10月17日	2,196.3 ㎡	試掘	無	支障なし
65	長坂2-75-11	住宅建設	10月21日	272. ㎡	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
66	昭和町13-15	店舗建設	10月22日	2,573.9 ㎡	試掘	無	支障なし
67	山科1丁目31番外13筆	宅地造成	10月23日	3,675.51 ㎡	試掘	無	支障なし (山科かなした遺跡)
68	山科1丁目45外7筆	宅地造成	10月23日	2,841. ㎡	試掘	無	支障なし (山科かなした遺跡)
69	諸江町下丁225番1外	店舗建設	10月30日	2,986.97 ㎡	試掘	無	支障なし
70	彦三町1丁目162番外1筆	住宅建設	10月31日	119.63 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
71	兼六元町535番	住宅建設	11月1日	95.15 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
72	御供田町イ5-1外1筆	住宅建設	11月6日	1,434. ㎡	試掘	無	支障なし
73	円光寺本町179番2	認定こども園建設	11月8日	2,822.68 ㎡	試掘	無	支障なし
74	今町乙90番地 外12筆 及び無籍地水路	工場建設	11月8日	3,787.03 ㎡	試掘	無	支障なし
75	神田2丁目47外5筆	店舗建設	4月1日	1,432.4 ㎡	試掘	無	支障なし
76	泉が丘2丁目400-1外4筆	老人ホーム	11月11日	1,357.71 ㎡	試掘	無	支障なし
77	大桑新町子4-5外6筆	農地転用	11月25日	2,261. ㎡	試掘	無	支障なし
78	駅西本町1丁目310番	住宅建設	11月27日	1,245.94 ㎡	試掘	無	支障なし
79	黒田2丁目350	住宅建設	11月27日	158.48 ㎡	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
80	横山町535番	住宅建設	12月3日	154.87 ㎡	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
81	寺中町へ37番4	住宅建設	12月3日	133.18 ㎡	試掘	無	支障なし (寺中B遺跡)
82	観法寺町3-102-3外7筆	資材置場	12月5日	3,180. ㎡	試掘	無	支障なし
83	石引3丁目72番地	宅地造成	12月17日	1,086.37 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
84	東兼六町393番外1筆	住宅建設	12月17日	228. ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
85	横枕町口27番1外1筆	店舗建設	12月20日	1,679.58 ㎡	試掘	無	支障なし
86	横枕町口27番1外1筆	事務所建設	12月20日	1,680. ㎡	試掘	無	支障なし
87	寺中町ホ55-41	住宅建設	12月23日	174.78 ㎡	試掘	無	支障なし (畝田・寺中遺跡)
88	有松3丁目1番外2筆	住宅建設	1月16日	1,193.78 ㎡	試掘	無	支障なし
89	小将町219番	事務所の新築	1月20日	182.21 ㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
90	元菊町195外1筆	住宅建設	1月23日	174. ㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)

ID	場 所	行 為 の 内 容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
91	元菊町84番	住宅建設	1月27日	158. ㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
92	南新保へ107-1外6筆	土地区画整理	1月30日	1,970. ㎡	試掘	無	支障なし
93	有松1丁目36番10	住宅建設	2月3日	168. ㎡	試掘	無	支障なし (有松B遺跡)
94	疋田3丁目1番外2筆	住宅建設	2月4日	1,715.32 ㎡	試掘	無	支障なし
95	押野2丁目198-4	住宅建設	2月18日	110.61 ㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
96	松島町5番4外1筆	事務所建設	2月26日	2773.42㎡ の一部	試掘	無	支障なし
97	笠舞1丁目319	住宅建設	2月27日	178.57 ㎡	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
98	法光寺町85番	グループホーム建設	3月4日	873. ㎡	試掘	無	支障なし (法光寺遺跡)
99	近岡町858-1外3筆	店舗建設	3月6日	2281.31㎡ の一部	試掘	無	支障なし
100	小将町47	店舗建設	3月7日	332.75 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
101	円光寺1丁目236番外2筆	住宅建設	3月11日	1,620. ㎡	試掘	無	支障なし
102	諸江町下丁95番外1筆	共同住宅	3月12日	1,688. ㎡	試掘	無	支障なし
103	末町拾四字48-1外	農地転用	3月17日	1,425. ㎡	試掘	無	支障なし
104	武蔵町166番	住宅建設	3月18日	145.15 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
105	三十荊町丙173番外3筆	宅地造成	3月18日	1,044. ㎡	試掘	無	支障なし
106	笠舞1丁目366番	住宅建設	3月19日	164.95 ㎡	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
107	八日市3丁目521	宅地造成	3月19日	274. ㎡	試掘	無	支障なし (八日市B遺跡)
108	八日市2丁目411番外2筆	共同住宅	3月19日	1,136.67 ㎡	試掘	無	支障なし
109	畝田中1丁目126番	住宅建設	3月19日	1,003. ㎡	試掘	無	支障なし
110	尾張町2丁目76番	店舗建設	3月26日	50.43 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)



■(別表)土木工事のための埋蔵文化財発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場 所	行 為 の 内 容	届 出 日	取 扱 通知日	面 積	遺 跡 名	対 応
1	94条(通知)	直江南2丁目204番	西部緑道地下貯留施設築造工事	4月1日	4月1日	600.00 ㎡	直江北遺跡	発掘調査
2	93条(届)	高島2丁目136番2	分譲住宅の建設	4月4日	4月4日	136.96 ㎡	高島遺跡	慎重工事
3	93条(届)	八日市1丁目283番、284番、285番1、287番1、288番2	共同住宅建設	4月8日	4月8日	2,026.96 ㎡	八日市D遺跡	工事立会
4	93条(届)	寺中町ホ74番7	駐車場造成	4月23日	4月23日	169.92 ㎡	畝田・寺中遺跡	慎重工事
5	94条(通知)	小立野5丁目127番1 外	金沢美術工芸大学跡地再開発工事	5月8日	5月8日	54,500.00 ㎡	経王寺遺跡	発掘調査
6	94条(通知)	小立野5丁目127番1 外	金沢美術工芸大学跡地再開発工事	5月8日	5月8日	54,500.00 ㎡	小立野モトツルママチ遺跡	発掘調査
7	93条(届)	石引1丁目地内	ガス管移設	5月10日	5月10日	20.00 ㎡	辰巳用水	工事立会
8	94条(通知)	石引1丁目204番先	水道管移設	5月13日	5月13日	5.00 ㎡	辰巳用水	工事立会
9	93条(届)	伏見台3丁目155番	個人住宅建設	5月21日	5月21日	258.00 ㎡	寺地向田遺跡	工事立会
10	93条(届)	長坂2丁目41番4	個人住宅建設	5月28日	5月28日	139.38 ㎡	長坂A遺跡	工事立会
11	93条(届)	主計町259番	宿泊施設改修	5月28日	5月28日	80.35 ㎡	金沢城下町遺跡(主計町1番地点)	工事立会
12	93条(届)	直江南1丁目59番	分譲住宅建設	7月2日	7月2日	300.53 ㎡	直江ニシヤ遺跡	工事立会
13	93条(届)	香林坊2丁目206番・214番	個人住宅建設	7月11日	7月11日	156.76 ㎡	金沢城下町遺跡(香林坊2丁目8番地点)	慎重工事
14	93条(届)	木曳野2丁目9番	個人住宅建設	7月12日	7月12日	193.91 ㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
15	93条(届)	高岡町406番2	個人住宅建設	7月19日	7月19日	134.75 ㎡	金沢城下町遺跡(高岡町12番地点)	慎重工事
16	93条(届)	有松4丁目51番、52番、63番、64番、65番、66番	店舗建設(駐車場造成)	7月24日	7月24日	2,889.56 ㎡	有松D遺跡	慎重工事
17	93条(届)	兼六元町14番、15番、16番1、17番1	個人住宅建設	7月26日	7月26日	360.41 ㎡	金沢城下町遺跡(兼六元町15番地点)	慎重工事
18	93条(届)	近岡町132番1	共同住宅建設	8月7日	8月7日	535.56 ㎡	大友E遺跡	工事立会
19	93条(届)	兼六元町556番2	個人住宅増築	8月7日	8月7日	2.74 ㎡	金沢城下町遺跡(兼六元町1番地点)	工事立会
20	94条(通知)	安江町455番1	用水修景整備(玉石積)	8月9日	8月9日	80.00 ㎡	金沢城下町遺跡(安江町15番地点)	工事立会
21	94条(通知)	石引1丁目4番33先～6番12先	下水道管改築	8月21日	8月21日	25.00 ㎡	辰巳用水	工事立会
22	93条(届)	近岡町131番1	個人住宅建設	8月26日	8月26日	696.64 ㎡	大友E遺跡	慎重工事
23	93条(届)	森戸1丁目131番7	分譲住宅建設	9月12日	9月12日	113.31 ㎡	森戸住宅遺跡	慎重工事
24	93条(届)	寺中町へ37番9	分譲住宅建設	10月7日	10月7日	128.74 ㎡	寺中遺跡	工事立会
25	93条(届)	近岡町743番1の一部	分譲住宅建設	10月11日	10月11日	224.23 ㎡	近岡遺跡	工事立会
26	93条(届)	近岡町743番1の一部	分譲住宅建設	10月11日	10月11日	125.59 ㎡	近岡遺跡	工事立会
27	93条(届)	近岡町743番1の一部	分譲住宅建設	10月11日	10月11日	125.64 ㎡	近岡遺跡	工事立会
28	94条(通知)	石引1丁目200番1先	水道管移設	10月16日	10月16日	1.00 ㎡	辰巳用水	工事立会
29	93条(届)	近岡町132番1の一部	個人住宅建設	10月21日	10月21日	248.17 ㎡	大友E遺跡	工事立会
30	93条(届)	尾張町1丁目308番、309番、311番、313番、314番、315番の一部	店舗建設	10月30日	10月30日	492. ㎡	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目10番地点)	工事立会
31	93条(届)	近岡町743番1の一部	分譲住宅建設	11月5日	11月5日	202.9 ㎡	近岡遺跡	工事立会
32	93条(届)	彦三町2丁目219番3、219番4	個人住宅建設	11月25日	11月25日	122.62 ㎡	金沢城下町遺跡(彦三町2丁目7番地点)	工事立会
33	93条(届)	伏見台3丁目129番2	分譲住宅建設	12月6日	12月6日	161.56 ㎡	寺地向田遺跡	工事立会
34	93条(届)	伏見台3丁目129番1	分譲住宅建設	12月9日	12月9日	161.56 ㎡	寺地向田遺跡	工事立会
35	93条(届)	直江南2丁目61番、62番、76番	共同住宅建設	12月16日	12月16日	871.36 ㎡	直江北遺跡	工事立会
36	93条(届)	直江南2丁目52番、60番	個人住宅建設	1月10日	1月10日	331.22 ㎡	直江北遺跡	工事立会
37	93条(届)	彦三町2丁目218番2、219番2	個人住宅建設	1月27日	1月27日	63.76 ㎡	金沢城下町遺跡(彦三町2丁目7番地点)	工事立会
38	93条(届)	小将町219番	事務所建設	1月30日	1月30日	181.85 ㎡	金沢城下町遺跡(小将町8番地点)	慎重工事
39	94条(通知)	小将町地内	兼六小学校外構工事(排水工)	2月10日	2月10日	15,000. ㎡	金沢城下町遺跡(奥村家(支家)屋敷跡地区)	発掘調査
40	93条(届)	長坂2丁目41番5	個人住宅建設	2月18日	2月18日	136.13 ㎡	長坂A遺跡	慎重工事
41	93条(届)	小将町206番	個人住宅建設	2月21日	2月21日	127.21 ㎡	金沢城下町遺跡(小将町7番地点)	慎重工事
42	93条(届)	南町172番1、173番、174番、175番、176番、177番	駐車場造成	2月25日	2月25日	476. ㎡	金沢城下町遺跡(南町4番地点)	慎重工事



### 3. 教育・普及・啓発活動事業

#### (1) 金沢縄文ワールド

##### ① 概要

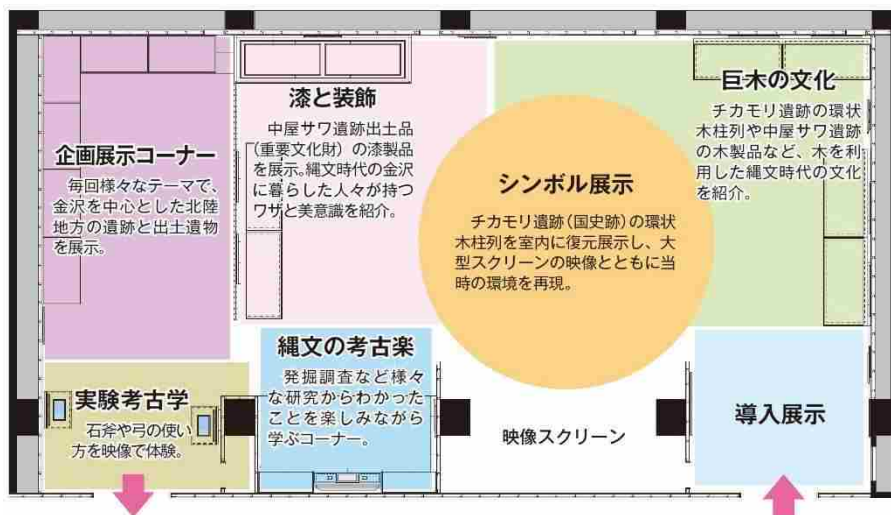
金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、堅櫛など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半截したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ木柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した木柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや縄文かご作りなどの各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

所在地	石川県金沢市上安原南60番地 金沢市埋蔵文化財センター内		
開館時間	9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12/29～1/3） ※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館		
入館料	無料		
入館者数	平成27年度	1,111人	（平成27年11月8日～平成28年3月31日）
	平成28年度	3,102人	（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
	平成29年度	3,209人	（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
	平成30年度	3,803人	（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
	令和元年度	3,810人	（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
	令和2年度	2,148人	（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
	令和3年度	1,981人	（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
	令和4年度	2,225人	（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
	令和5年度	2,390人	（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
	令和6年度	1,988人	（令和6年4月1日～令和7年3月31日）





## ② 常設展示

金沢縄文ワールドにおいて重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」及び国史跡「チカモリ遺跡」出土品を常設展示するにあたり、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下のコンセプトによる展示を行っている。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

これにメンテナンス性や環境への配慮を加えた結果、常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を企画したほか、タッチパネルを操作して金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古楽」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

## ■巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」

## ■漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は藍胎漆器<sup>らんたいしつぎ</sup>や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



常設展「漆と装飾」



「縄文の考古楽」コーナー

## ③ 企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。令和6年度は4回の企画展を開催した。ポスター等の印刷費には、一部文化庁の補助金を充てている。

### 企画展「遺跡はタイムカプセル!! 2」

会 期 令和6年6月15日（土）～令和6年9月8日（日）

概 要 金沢市内で発掘調査された縄文時代から江戸時代の遺跡のうち8遺跡をピックアップし、特徴的な出土品を展示。点定札は全国初出土資料の初公開。

#### 展示資料

縄文時代	縄文土器	土偶
弥生時代	弥生土器	戈状木製品 <sup>かじょう</sup> 皮袋形土製品 <sup>かわぶくろ</sup>
古墳時代	銅鏡	鉄刀 鉄斧 ガラス小玉
奈良・平安時代	墨書土器	檜扇 <sup>ひおうぎ</sup> 下駄
鎌倉・室町時代	点定札 <sup>てんじょうふだ</sup>	こけら経 <sup>せきとうざんけつ</sup> 石塔残欠
江戸時代	陶磁器類	鳥形 <sup>とりがた</sup> 石製行火 <sup>あんか</sup>

計 139 点



### 企画展「甦る、縄文土器」

- 会 期 令和6年9月14日（土）～令和6年12月8日（日）
- 概 要 重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」の指定10周年を記念して、企画展「甦る、縄文土器」と題し、修理が完了した32点の縄文土器を展示し、常設展で公開中の16点を合わせ、往時の姿へと甦った合計48点を一挙公開した。

#### 展示資料

縄文土器	深鉢	14点
〃	鉢	6点
〃	浅鉢	2点
〃	蓋	4点
〃	注口土器	5点
〃	壺	1点

計 32点

### 企画展「紫錦台中学校の下に眠る江戸時代」

- 会 期 令和6年12月14日（土）～令和7年3月9日（日）
- 概 要 金沢市内には敷地内で発掘調査が行われた小中学校がいくつかあるが、金沢市立紫錦台中学校もその中の一つである。平成25～27年に行われた発掘調査では、江戸時代の武士の生活に関する様々な遺構と遺物が見つかった。企画展では、紫錦台中学校の敷地内で行われた「金沢城下町遺跡（飛梅町3番地点）」の3次にわたる発掘調査で出土した江戸時代の出土品を展示した。

#### 展示資料 金沢城下町遺跡（飛梅町3番地点）出土遺物

暦手碗（文化15年銘）	1点
VOC銘ジンボトル残欠	1点
瓦（梅鉢文）	1点
陶磁器類	45点
土器類	13点
土人形	17点
刀装具	2点

計 80点

### 企画展「石川中央都市圏歴史資料展 ー江戸時代編ー」

- 会 期 令和7年3月16日（土）～令和7年6月9日（日）（予定）
- 概 要 石川中央都市圏に属する金沢市、かほく市、野々市市、白山市、内灘町、津幡町の4市2町が連携して行う巡回展示である。平成29年度から毎年、対象とする時代を変えて行っており、今回が8回目である。「ものづくりと生業」をテーマに各市町の民俗資料や考古資料を展示した。

#### 展示資料

【玉作り】…北加賀で盛んに作られた古代のアクセサリー

金 沢 市 弥生・古墳時代の玉作り資料

【酒造りと醤油】…日本の伝統的ものづくり

かほく市 縄文時代と江戸時代の酒・醤油造り資料

野々市市 喜多家の伝統的酒造り資料

金沢市 縄文時代と平安時代の酒関係資料

【染織物と養蚕】…染織と山間部の生業

白山市 染織物関係資料

津幡町 養蚕関係資料

【漁労】…潟の自然が育んだ生業

津幡町 河北潟の漁労関係資料

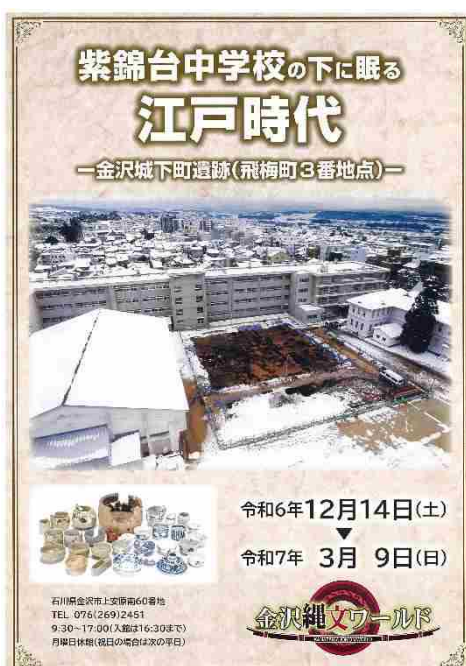
内灘町 潟漁と佃煮作り関係資料



「遺跡はタイムカプセル!!2」チラシ



「甦る、縄文土器」チラシ



「紫錦台中学校の下に眠る江戸時代」チラシ



「石川中央都市圏歴史資料展-ものづくりと生業編-」チラシ



#### ④ 縄文文化体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、金沢市埋蔵文化財センターの2階に縄文文化体験コーナーを併設し、様々な縄文体験を無料で実施している。同コーナーの体験メニューはいつでも体験できる**通年メニュー**と、3月毎に内容が変わる**期間限定メニュー**の2種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

**通年メニュー** 勾玉作り 拓本作り ペーパークラフト むりえ 歴史文様しおり作り

**期間限定メニュー** くみひも作り（4～6月）うでわ作り（7～9月）土笛作り（10～12月）  
縄文コースター作り（1～3月）

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

[https://www4.city.kanazawa.lg.jp/bunka\\_sports\\_kanko/rekishi\\_bunkazai/6/4/18151.html](https://www4.city.kanazawa.lg.jp/bunka_sports_kanko/rekishi_bunkazai/6/4/18151.html)

利用実績	令和 2年度	1,111 人（令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月 31日）
	令和 3年度	988 人（令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月 31日）
	令和 4年度	1,165 人（令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日）
	令和 5年度	1,471 人（令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月 31日）
	令和 6年度	1,107 人（令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月 31日）



体験コーナーでの勾玉作りの様子



勾玉



ペーパークラフト



歴史文様しおり

## ⑤ 金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」等の展示を通して本市の縄文遺跡の魅力を紹介している。また、併設する縄文体験コーナーでは、勾玉作りなど様々な縄文文化を無料で体験することができる。当館では、金沢縄文ワールドを初めとした本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。なお、助成金には文化庁の補助金を充てている。

見学コースは下記の4コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。見学バス助成は予算上10団体程度を募集しているが、助成に依らない団体見学は随時受け入れている。

令和6年度は6～11月に市内小学校3校がこの制度を利用した。

### ① 展示見学コース —金沢縄文ワールドの展示と館内の見学—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約40分

### ② 縄文文化体験コース —金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約90分

### ③ 縄文文化探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約120分

### ④ 古代の里探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学とふるさとの国史跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、上荒屋史跡公園、東大寺領横江荘遺跡・荘家跡  
御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約120分

利用実績	令和 2 年度	2 団体	82 人
	令和 3 年度	5 団体	305 人
	令和 4 年度	9 団体	347 人
	令和 5 年度	7 団体	434 人
	令和 6 年度	3 団体	108 人



助成制度によるバス運行



## （２）歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座では、縄文時代から古墳時代までの各時代の特徴解説、各校区内の遺跡出土品を含む市内遺跡からの出土品の見学、勾玉作り体験または火起こし体験、などを行っており、社会科の歴史授業を補完しつつ郷土の歴史と遺跡の発掘調査について理解を深める内容となっている。また、現在の生活と埋蔵文化財との接点を紹介し、遺跡を身近に感じることを目的として、各校区内に分布する埋蔵文化財包蔵地や指定文化財を記した文化財マップも同時配布している。

平成 22 年度からは、金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私共同で事業を展開している。令和 6 年度は 4 月 23 日の泉小学校から始まり、6 月 26 日の田上小学校に終わる 27 校で開催した。うち 13 校が勾玉作りコース、13 校が火起こしコース、1 校が土器実見コースを行った。参加児童数は 1,800 名で、平成 12 年度からの累計は 40,189 名となった。

《過去5年の事業実績》			
実施年度	学校数	講座数	参加人数
令和2年度	新型コロナウイルスにより中止		
令和3年度	12	26	838
令和4年度	23	39	1,297
令和5年度	25	53	1,663
令和6年度	27	65	1,800



火起こし体験

## （３）金沢こども歴史探検隊

金沢市埋蔵文化財センターでは、将来を担う子どもたちを対象に、市内の史跡・建造物など実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を平成 15 年度より実施している。この活動は、ふるさとの歴史をより深く理解してもらうことで、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護っていく「金沢型の文化財保存活動」の実現をめざす環境を醸成することを目的としている。

第 24 回目となる令和 6 年度は、「チャレンジ！遺跡体験発掘 S5（シーズンファイブ）」と題した親子参加型の体験発掘を南新保 C 遺跡にて実施し、平安時代と想定された溝跡を掘削した。なお、この時の掘削により中世の遺物が出土したため、当該遺構は中世のものであることが判明している。また、翌日には大人を対象とした体験発掘「オトナ遺跡体験発掘」を実施し、平安時代の溝跡の掘削のほか、方形周溝墓の遺構断面図作成などを行った。

今後も同様のイベントを継続して実施し、金沢の豊富な歴史文化遺産を次世代へと守り伝える環境の醸成に努めていきたい。

なお、会場となった南新保 C 遺跡については、本書 5 ～ 8 頁を参照いただきたい。

《過去5年の事業実績》	
実施年度	タイトル
令和2年度	チャレンジ！遺跡体験発掘
令和3年度	チャレンジ！遺跡体験発掘R
令和4年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S3
令和5年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S4
令和6年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S5
	オトナ遺跡体験発掘

### 【概要】

- ・チャレンジ！遺跡体験発掘 S 5      開催日：令和6年10月12日（土）  
参加者：6名（小学生3名、保護者3名）
- ・オトナ遺跡体験発掘      開催日：令和6年10月13日（日）  
参加者：8名

### （4）市民ふるさと歴史研究会『中屋サワ遺跡出土品 ―重文指定10周年の今―』

市民ふるさと歴史研究会は、金沢市内の発掘調査等による成果を市民に伝えることを目的として、平成16年から実施している市民参加型の講演会である。

令和6年度は金沢縄文ワールド企画展「甦る、縄文土器」の開催と連携し、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」指定後10年間の間に実施した保存修理実績などを発掘調査の概要とあわせ報告する講演会を開催。講演会終了後は企画展示室にて展示品の列品解説を実施した。

実施日：令和6年11月17日（日）13:30～16:00

会 場：金沢市埋蔵文化財センター 映像学習室および金沢縄文ワールド

参加者：13名



報告「中屋サワ遺跡出土品」



列品解説



## （５） 史跡活用事業

本市では、郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深め、文化財愛護の精神を培う機会を創出することを目的として、対象とした史跡及び埋蔵文化財を活用した各種イベントを開催している。実施にあたっては金沢文化財ボランティア「うめばちの会」に協力を要請しているほか、経費の一部に石川県史跡整備市町協議会からの補助金を充てている。

### 【チカモリ縄文まつり】

国史跡「チカモリ遺跡」の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：令和6年6月2日（日）

開催場所：チカモリ遺跡公園

主な内容：火起こし 勾玉作り 縄文解説ツアー  
拓本しおり作り 貫頭衣試着 土器パズル  
埋蔵文化財収蔵庫見学

参加者：約500名

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



火起こし体験

### 【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を題材に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実施日：令和6年7月20日（土）

開催場所：金沢市三和公民館

主な内容：火起こし 勾玉作り 土器作り  
しおり作り 土器パズル 古代食試食  
平安時代衣装試着

参加者：約160名

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



平安時代衣装試着

### 【チカモリ学習会】

チカモリ縄文まつりの一環として、地域住民に国史跡チカモリ遺跡や縄文時代の生活について理解を深める内容の学習会を開催。

実施日：令和6年7月20日（土）

開催場所：金沢市西南部公民館

演題：チカモリ遺跡と縄文の食

講師：埋蔵文化財センター 前田主査

参加者：31名



チカモリ学習会

## （６） 古代の鏡を作ろう！

シリコン製の鋳型と地金を用いた鋳造体験。金沢市下安原遺跡出土珠文鏡（古墳時代）と大友西遺跡出土瑞花八稜鏡をモチーフにした鋳型に溶かした地金（錫とビスマスの合金、融点138℃）を流し込んで鏡のレプリカを作る。参加者が史跡に親しみ、郷土の歴史や埋蔵文化財に対する理解・興味を深めることを目的としており、実施にあたっては金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力を得ている。また、材料経費の一部に文化庁の補助金を充てている。

実 施 日：①令和6年7月28日（日） 28名

②令和6年8月18日（日） 22名

③令和6年11月2日（土） 13名

開催場所：金沢縄文ワールド

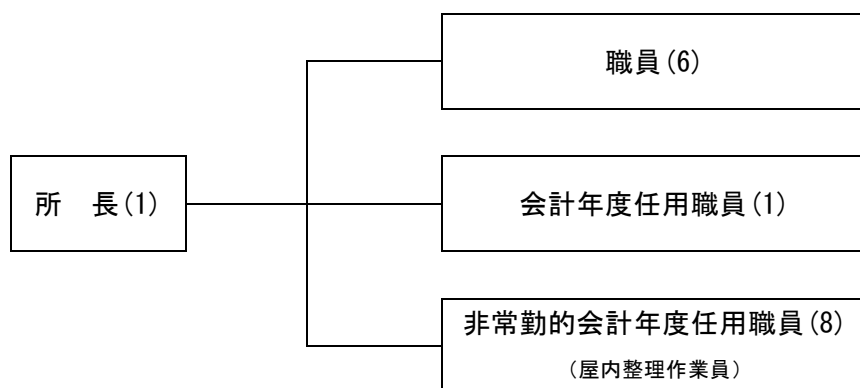


古代の鏡を作ろう！



## 4. 組織

令和7年3月31日現在



令和6年度

### 金沢市埋蔵文化財調査年報

令和7(2025)年3月31日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒920-0374

石川県金沢市上安原南60番地

TEL 076-269-2451

FAX 076-269-2452

mail:maibun@city.kanazawa.lg.jp